

## 年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎え、謹んでごあいさつを申し上げます。

新型コロナウイルスが発生し早や2年が経過しました。この間、ウイルスによる感染症はまさにパンデミックと呼ばれるように世界中に蔓延し、数多くの死者や重症者を生じ、各国では医療崩壊が起り世界経済にも甚大な影響を及ぼしてきました。一方、わが国では4回、当県においても2度にわたる緊急事態宣言が発令され、とりわけ観光産業、外食産業、製造業、そして我々物流業界は大きなダメージを受けてきました。

しかし、昨秋10月の宣言解除後、全国の感染者数は急激に減少に転じ、いくらか明るい兆しが見え始めたのも束の間、今度は原油価格の高騰に見舞われ、我々の経営状況は一変し必死の自助努力にもかかわらず、多くの事業者が事業存続の岐路に直面しています。

さらに、トラックドライバーの労働環境は依然として厳しい状況下にあります。働き方改革実現のための労働時間の短縮や賃金の引き上げは喫緊の課題であります。

こうした諸課題を解決するためには、業界の一丁目一番地である「安全対策」はもちろんのこと、何よりも「標準的な運賃」や燃料サーチャージの適正収受、重要物流道路等の物流基盤整備や高速道路料金の更なる引下げなどが最重要であり、本年はこうしたことを中心に協会が率先して対応していかなければならないと考えますので、会員各位には引き続きのご支援ご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

さて、振り返りますと平成26年に岡田前会長よりバトンをお預かりし、「継続」「刷新」「結束」をコンセプトにその任に当たって参りました。

わが協会の歴史は、70有余年に亘って先人達が刻んでこられた足跡そのものであります。その大事に育て見守って下さった時代の扉を開けさせていただいた時期が、はからずも私の任期と同時期であったのは全くの偶然であったかも知れません。

それを「継続」と言うならば、「刷新」はまさしく「不易流行」であり、継続の中から新しい時代に合致した事業が誕生したように思います。

4期8年に亘り「安全」と「人」をキーワードに「環境」「法令遵守」にも重きを置き、滋賀県との連携コラボ「滋賀にキラリ輝く七つ星事業」の名の下、各種事業の展開を図って参りました。

この間、私自身、体調を崩し会員皆様方に多大なるご迷惑とご心配をお掛けいたしました。今さらながら自分自身、忸怩たる思いに駆られておるところでございます。

また、先ほども申し述べましたが、2年の長きに亘っての新型コロナウイルス感染の業界への影響は計り知れないものがあり、早々に終息そして次のステップへと前進しなければなりません。

次年度新会長の下、より強い結束で全会員が「忘己利他」の精神のもと「一隅を照らす」思いで会員全員がワンチームとなり、是非とも次の時代を明るいものにしていただきたく存じます。本当に4期8年の長きに亘りご支援ご協力ご芳情を賜り誠にありがとうございました。

結びに、甲斐切次期会長予定者に最大限のエールを送り、衷心より厚く厚く御礼と感謝を申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

令和4年 元旦

一般社団法人 滋賀県トラック協会  
会長 田中 亨